

*Super*  
**SHIP**

**S** A-RB

CALCUTTA  
**CONQUEST**  
200DC / 201DC

取扱説明書

**SHIMANO**

## ごあいさつ／目次／標準付属品

このたびは、カルカッタコンクエスト DC シリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。カルカッタコンクエスト DC の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

仕様	3
各部の名称	4
DC <sup>+</sup> （ディーシープラス）システムについて	6
DC <sup>+</sup> （ディーシープラス）の設定について	7
3 パターンのブレーキモード	8
より快適にデジタルコントロールブレーキを使用して頂く為の注意点	12
サイドプレート開閉ネジによる分解と注油方法	14
ハンドル部分の分解方法	18
ハンドルノブの取り外し方	18
メンテナンス方法	19
安全上のご注意	21
リールのお取り扱いの注意	22
商品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内	23
シマノ全国サービスネット	24

### ●標準付属品

取扱説明書・分解図・専用リール袋・オイル・保証書

## 仕様

機種名	商品コード 製品コード	自重 (g)	ギア 比	最大 ドラグ力 (N/kg)	ハンドル 長 (mm)	ナイロン 糸巻量 (号-m)	最大巻上長 (cm/ハンドル 1回転)	スプール寸法 (径mm/ 幅mm)	ベアリング数 (ボール/ ローラー)
カルカット コンクエスト 200DC	02281 5RH560200	260	5.0	49.0/ 5.0	42	3-180 3.5-150 4-130 5-100	58	37/24	S A-RB 10 / A-RB 1
カルカット コンクエスト 201DC	02282 5RH560201								

### ●ナイロン糸の標準直径 (m/m)

3号 (12lb) -  $\phi$  0.285    3.5号 (14lb) -  $\phi$  0.310  
 4号 (16lb) -  $\phi$  0.330    5号 (20lb) -  $\phi$  0.370  
 ※銘柄により太さ表示は異なる場合があります。

●製品改良のため、仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

●カルカットコンクエスト 200DC/201DC ではボールベアリングに新設計のシールドタイプ S A-RB を採用。従来の A-RB の側面に防錆素材でシーリングし、塩水の浸入を減少。A-RB 処理によるベアリングの防錆性はもちろん、ベアリング内部に浸入した塩分の結晶化による“塩噛み”をも減少させ、ソルトウォーターでの使用をさらに快適なものにしています。

 S A-RB

## 各部の名称 ※ライトハンドルのイラストで説明しています。

### ■スタードラグ

ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラグが締まります。カーボンドラグワッシャーの採用で耐水性とスムーズさを両立しました。

### ■サイドプレート開閉ネジ

### ■スーパーストッパーII

ハンドルをどの位置で止めてもピタッと逆転が停止します。気になるガタつきもなく、フッキング時のタイムロス、パワーロスを防ぎます。

### ■アルミコールドフォーミング(冷間鍛造)による 42mm ロングハンドル

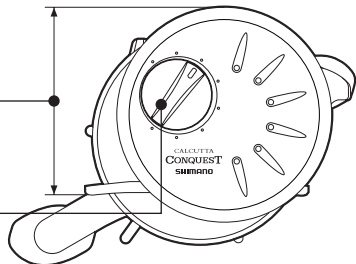
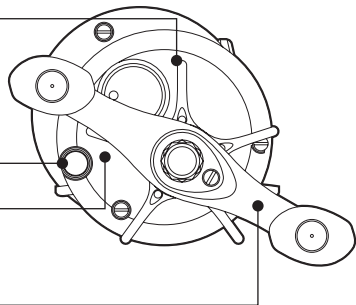
強度と美しさのためにコールドフォーミングで仕上げました。

### ■ロープロファイルボディ

パーミング性に求められる形を追求し設計されています。

### ■DC+ (ディーシープラス)

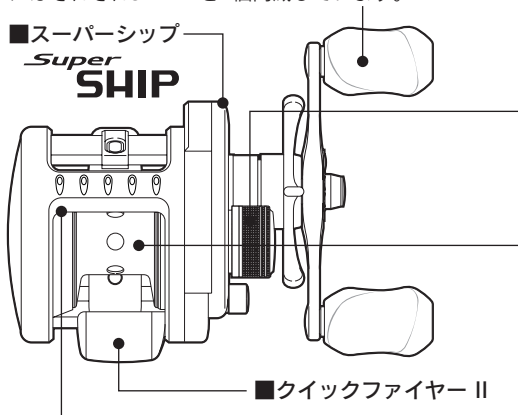
デジタルコントロールブレーキシステム  
(詳細は6～13ページ)



## ■右(または左)ハンドル専用形状 S A-RB 内蔵ハンドルノブ

右手(レフトハンドルは左手)でつまむことを前提とした専用形状でフィット感の向上と疲労を軽減。ノブにはそれぞれS A-RBを2個内蔵しています。

## ■スーパーシップ *Super* **SHIP**



## ■クイックファイヤー II

## ■新形状傾斜サムレスト

指の当たる部分を傾斜させる事により、パーミング性を更にUPしています。

## ■マイクロピッチクリック付き 大口径キャストコントロールツマミ

キャストコントロールツマミはスプールの回転にブレーキをかけるものです。右に回すとスプールのフリー回転にブレーキがかかり、左に回していくとそのブレーキは弱くなります。精密なクリックとマイクロピッチで微妙な調整を可能にします。

(カルカッタコンクエストDCはデジタルコントロールブレーキが働いたためスプールにガタの出ない程度の設定でOKです。)

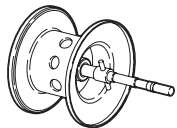
※キャストコントロールツマミはゆるめて使うことができますが、ゆるめすぎた場合、スタードラッグに当たることがあるのでご注意ください。

## ■マグナムライトスプール

超々ジュラルミンで可能な限りムダを削ぎ落とし、敏感な立ち上がり確保したマグナムライトスプール。

エッジは極限まで削り込まれていますので、取り外した際の取り扱いには充分にご注意ください。

極限まで  
慣性力を軽減する  
スプール設計



## DC<sup>+</sup> (ディーシープラス) システムについて

### ●夢のブレーキシステム「DC<sup>+</sup>(ディーシープラス) デジタルコントロールブレーキ」。

ルアーを始めとしたスポーツキャスティングにおいて、シマノが永年こだわり続けてきた“キャスティング”。その“キャスティング”への飽くなき探究心が、夢のDC (デジタルコントロール) ブレーキシステムを進化させました。

カルカッタコンクエスト 200DC/201DC は使用されるラインに着目し、**N** (ナイロン) モード、**F** (フロロ) モード、**SP** (スペシャル) モードの3つのモードに大別。**SP** モードではコンクエスト 200番に求められるビッグゲームに対応できる20ポンド以上のラインを想定したモードになっております。キャスティングした際の不要なラインの浮きを完全に押さえつつ、キャストフィールをUPさせたモードです。

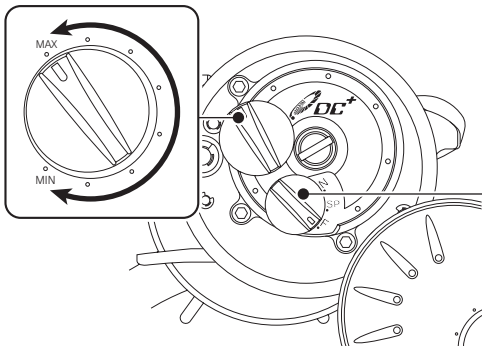
外側のデジタルコントロールブレーキ調整ダイヤルは8段階の調整ができるようになっており、3つのモードに対して8段階のブレーキ調整ができます。

リール内部に組み込まれたマイコンの処理能力が従来と比較し飛躍的にUPしたことで倍の頻度でブレーキ調整が可能となり、より繊細なブレーキコントロールができるようになりました。その結果、3つのモードそれぞれに対応する8段階のブレーキ調整も、それぞれがシビアなセッティングではなく、マイコンの処理能力UPの為、ある程度その前後の状況に応じても対応できるブレーキシステムとなりました。全てがマイコンまかせではなく、ある程度のセッティングをお客様が出す「いじる楽しさ」を残したシステム「DC<sup>+</sup>」が仕上がりました。

## DC<sup>+</sup> (ディーシープラス) の設定について ※ライトハンドルのイラストで説明しています。

### ■デジタルコントロールブレーキ 調整ダイヤル

8段階の調節が可能です。**MIN**から**MAX**へとブレーキ力は強くなります。初めてご使用の際は**MAX**にセットして、様子を見ながらブレーキの効き方を覚えて行くことをおすすめします。

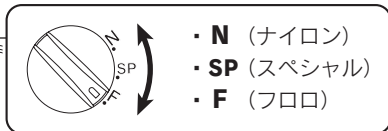
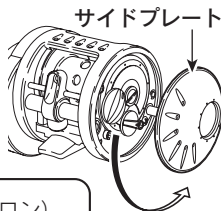
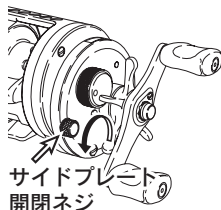


### ■デジタルコントロールブレーキ モードダイヤル

サイドプレート開閉ネジをゆるめるとサイドプレートが開き、本体内部に搭載されたデジタルコントロールブレーキモードダイヤルが調整できます。

下記の3パターンのブレーキモードの選択が可能です。

(各モードの詳細は8～11ページ参照)



### 3 パターンのブレーキモード

#### Nモード (ナイロンモード)

マイコンの処理能力が従来と比較し飛躍的にUPしたことで、倍の頻度でブレーキ調整が可能となり、瞬間的な風向きやキャストスピードの変化にある程度の幅で自動的に対応し、バックラッシュを抑えて飛距離を伸ばすことが出来ます。

#### ●ナイロンラインを使用する際に最高の飛距離を得る N モード

Nモードでは16lbのナイロンラインを基準ラインとして、向かい風から追い風までのあらゆる状況に対応した8種類のブレーキプログラムが選択できます。

比重の軽いナイロンラインを巻いた際、その特性を最大限に生かし、最適なブレーキによってギリギリのところまでバックラッシュさせずに飛距離を伸ばすことが出来ます。

#### ●ボリューム設定

向かい風または飛行中に回転しやすい重心固定ミノー、ジョイントプラグなどはボリューム6～8を使用することでルアーの姿勢をしっかりと固定し、バックラッシュを低減させ驚異的な飛距離を生み出します。

ボリューム3～6は一般的なシャロークランクやバイブレーションプラグ、重心移動ミノーやペンシルベイトなどに対応します。キャスト中盤以降をうまく補正して飛距離を伸ばします。

ボリューム1～2は空気抵抗の少ないバイブレーションプラグや追い風時の遠投に使用するセッティングで、恵まれた条件で最高の飛距離を叩き出す極めて弱いブレーキセッティングとなっています。

ダイヤルNo.	8 (Max.)	7	6	5	4	3	2	1 (Min.)
	N-8	N-7	N-6	N-5	N-4	N-3	N-2	N-1



## SPモード（スペシャルモード）

**SP**モードは20lb以上のフロロカーボンラインにまで対応したビッグゲーム専用モード。コンクエスト200番サイズに求められる、太いラインを使用して重量級ルアーを扱うキャスティングゲームに特化したスペシャルモードです。

このモードでは、キャスト直後のオーバーランや急なルアーの回転にもラインの浮きをしっかりと抑え、よりトラブル無くキャストし続けることができます。

ボリューム**3～6**は大型ソフトベイトやビッグプラグ、**7・8**は向かい風の過酷な状況下でジョイントビッグプラグやリップの大きなプラグに対応します。

更にビッグプラグでのロングディスタンスには**1～2**をおすすめします。

ダイアルNo.	8 (Max.)	7	6	5	4	3	2	1 (Min.)
	SP-8	SP-7	SP-6	SP-5	SP-4	SP-3	SP-2	SP-1

## Fモード（フロロモード）

マイコンの処理能力が従来と比較し飛躍的にUPしたことで、倍の頻度でブレーキ調整が可能となり、瞬間的な風向きやキャストスピードの変化にある程度の幅で自動的に対応し、バックラッシュを抑えて飛距離を伸ばすことができます。

### ●フロロカーボンラインを使用する際に最高の飛距離を得る F モード

Fモードでは16lbのフロロカーボンラインを基準ラインとして、向かい風から追い風までのあらゆる状況に対応した8種類のブレーキプログラムが選択できます。

ナイロンに比べ比重の重いフロロカーボンラインを巻いた際に、特にバックラッシュしやすいキャスト直後のオーバーランを強力に抑えつつ、中盤以降をうまく補正してギリギリのところまでバックラッシュさせずに飛距離を伸ばすことができます。

### ●ボリューム設定

向かい風または飛行中に回転しやすい重心固定ミノー、ジョイントプラグなどはボリューム6～8を使用することでルアーの姿勢をしっかりと固定し、バックラッシュを低減させ驚異的な飛距離を生み出します。

ボリューム3～6は一般的なシャロークランクやパイブレーションプラグ、重心移動ミノーやペンシルベイトなどに対応します。キャスト中盤以降をうまく補正して飛距離を伸ばします。

ボリューム1～2は空気抵抗の少ないパイブレーションプラグや追い風時の遠投に使用するセッティングで、恵まれた条件で最高の飛距離を叩き出す極めて弱いブレーキセッティングとなっています。

ダイヤルNo.	8 (Max.)	7	6	5	4	3	2	1 (Min.)
	F-8	F-7	F-6	F-5	F-4	F-3	F-2	F-1

## DC+のワンポイントテクニック

例えばナイロンラインを使用し、軽くて空気抵抗の大きいルアーを強風向かい風の中キャストすると、ボリュームは **MAX** なのにバックラッシュしてしまいます。こんな場合は **F** モードでご使用いただくと、ベストなセッティングを見つけ出す事ができるでしょう。

フロロカーボンラインでも同様に **SP** モードでご使用いただけます。

次にフロロラインを使用し、ボリューム **MIN** でもブレーキが強すぎると感じた場合は **N** モードで調整し、ベストなセッティングを見つけてください。

## より快適にデジタルコントロールブレーキを使用して頂く為の注意点

### ●糸巻き量、スプール回転数

ブレーキセッティングはフルライン（スプールの95%糸巻き量）の状態を前提に作られています。これより糸巻き量が少ない場合は、スプールの回転数が上がりやすくなるため、ブレーキが強くなりすぎることがあります。そのような場合はブレーキを弱い方へセッティングし、ご使用下さい。

### ●糸の太さ、スプール回転数

糸の太さによって、キャスト時のスプール回転数の下がり方が異なります。同じ糸巻き状態で同じ速度でルアーが飛んでいる場合には糸が太いほうがスプール径が早く痩せ、スプール回転数は多くなります。そのため、太い糸のほうが理論的にはブレーキが強くなりやすい傾向があります。

### ●ベアリングの回転状態、汚れ

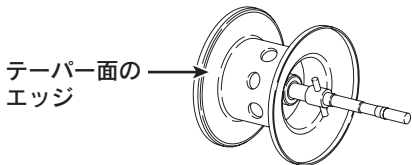
カルカタコンクエスト 200DC/201DC のブレーキプログラムは汚れのないスムーズな回転状態のベアリングで設定されています。汚れ、オイル切れ等の回転状態の悪いベアリングを使用した場合はブレーキが効きすぎると感じる場合がありますのでご注意下さい。（多少のベアリング汚れ等であれば、デジタルコントロールブレーキ調整ダイヤルを若干ゆるめに設定することで対処できます。）

### ●風向、風力

風向と風力によってルアーの飛びは大きく影響を受けます。特に真正面からの向かい風は、ルアー、ラインに大きな影響を与えます。バックラッシュが起こりやすい場合はデジタルコントロールブレーキ調整ダイヤルを更に強い方向へ設定してご使用ください。その際キャストコントロールツマミの設定はスプールの横ガタが出ない程度の設定にしてください。締め込まれますとDCのポテンシャルが十分に発揮できません。

## ●糸巻量のご注意

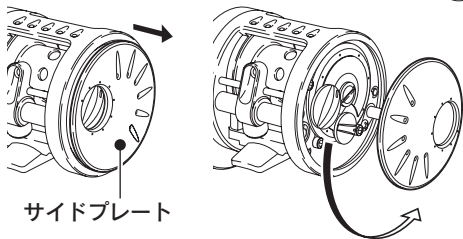
ブレーキ設定はスプールのテーパ面のエッジ(下図矢印)までの糸巻量で行っています。それよりも多く巻くとブレーキの効きは弱くなり、少なく巻くと強くなります。



## サイドプレート開閉ネジによる分解と注油方法 ※ライトハンドルのイラストで説明しています。

1. サイドプレート開閉ネジをゆるめるとサイドプレートが開きます。

2. サイドプレートはシャフトを軸に回転（スライド）させて開きます。

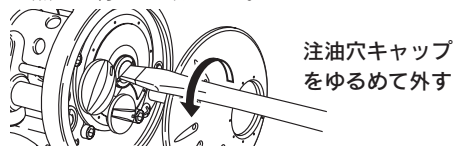


※閉じる場合にはサイドプレートを元の位置に収めてサイドプレート開閉ネジを締めてください。

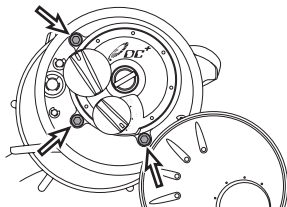
※サイドプレートが閉まりにくい場合は、プレートを前後左右に少し動かしながら閉めてください。

### ●ベアリングに注油される場合

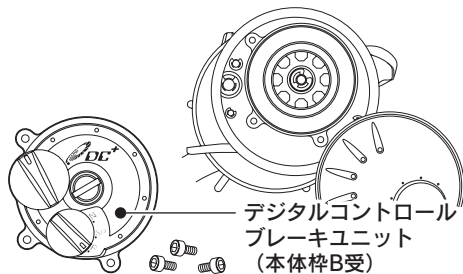
2. の状態で注油穴キャップをマイナスドライバーを使ってゆるめて取り外し、注油します。  
※ 16 ページ「注油についてのご注意」を参照して行ってください。



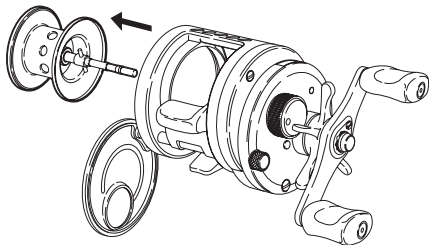
3. さらに分解される場合には、矢印の3点の黒いネジを六角レンチ（サイズ：2mm）でゆるめて下さい。



#### 4. デジタルコントロールブレーキユニット (本体枠 B 受) が外れます。



#### 5. スプールを抜き取ります。



#### 分解時のご注意

- ・ これ以上の分解はしないでください。
- ・ 本体のエッジ部で手を切らないようにご注意ください。
- ・ DC ブレーキユニット、スプールを取り外した際のお取り扱いには十分にご注意下さい。
- ・ 分解の際はネジの幅に合ったドライバー、六角レンチ (サイズ: 2mm) をお使いください。
- ・ 組み付けの際はあまり強く締めすぎますと本体やネジを痛める場合がありますのでご注意ください。
- ・ 電子部品は、全て DC ブレーキユニット (本体枠 B 受) の内部に取り付けられています。
- ・ 本体枠 B 受に装着されているコイルはモールドされていますが、力を加えないようご注意ください。変形するとトラブルの原因になります。
- ・ 本体枠 B 受から電子基板を絶対に取り外さないでください。取り外された後の性能保証はいたしかねますのでご注意ください。

## ■注油についてのご注意

カルカッタコンクエスト 200DC/201DC の優れた性能を長く維持するために、図（次ページ）の※**オイル**の箇所にはリールに付属の専用オイル、またはシマノリールメンテスプレー（セット）SP-003H のオイルスプレー、シマノリールオイルスプレー SP-013A をまちがえないように噴霧してください。（シマノ以外のオイルは使用しないでください。）

オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラグ部にはオイルは注さないでください。

※キャストコントロールツマミをゆるめた状態でベアリング注油穴キャップを締めてください。キャストコントロールツマミを締めたまま注油穴キャップを締めると、スプールのガタ付きがでやすくなります。

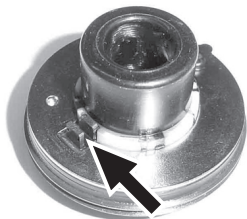
※キャストコントロールツマミは微調整を可能にするため、繊細なマイクロピッチスクリュー加工が施されています。そのため再取り付け時にはネジ山をつぶさない様、確実にネジ山がかみ合ったことを確認の上、ねじ込んでください。

※メンテナンス時、基盤表面にオイルなどを塗布されますと、機能異常を生じる場合がございます。特に〈図 A〉の矢印で示す光センサー表面には、オイルが回らない様ご注意願います。

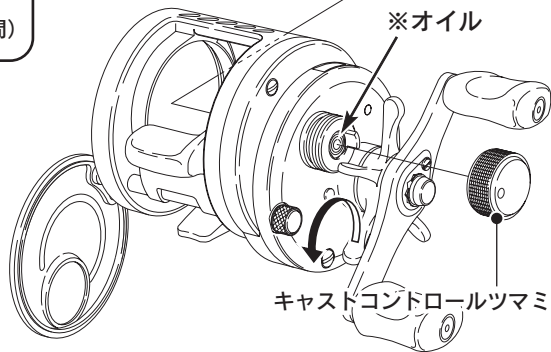
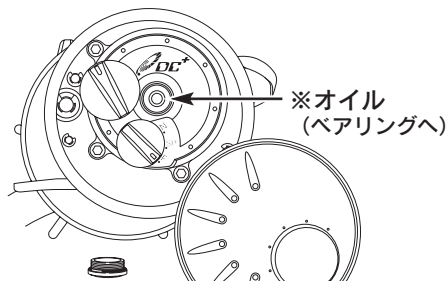
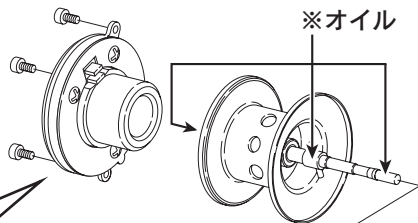


〈図 A〉

光センサー(右図)  
表面にオイルが  
回らない様  
ご注意ください。



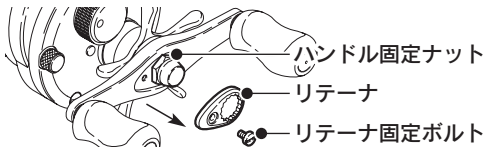
光センサー  
(2本の四角い出っ張りの間)



## ハンドル部分の分解方法

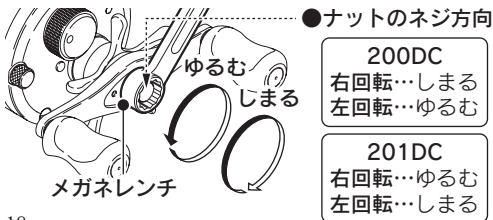
※ライトハンドルのイラストで説明しています。

1. リテーナ固定ボルトをゆるめてリテーナを取り外します。



2. メガネレンチでナットをゆるめてください。  
※市販のメガネレンチ（サイズ：10mm）をご使用ください。

※レフトハンドルは回転方向が下図の逆（逆ネジ）となりますのでご注意ください。



## ハンドルノブの取り外し方

※ライトハンドルのイラストで説明しています。

1. 工具を引っ掛けてキャップを抜き取ります。  
（工具は付属されておりません。工具は当社夢屋商品に同梱されている工具をご使用下さい。）



2. マイナスドライバーでノブ内部のナットをゆるめて外します。



## メンテナンス方法

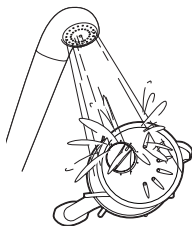
### ■海での使用後のご注意

カルカッタコンクエスト 200DC/201DC は海での使用を前提とした防錆処理を加えていますが、より長く性能を維持するため、以下のことにご注意下さい。

- リールに付着した塩分、ゴミ等は真水に浸した柔らかい布できれいに拭き取って十分に乾燥させて下さい。いちじるしく海水が浸入したと思われる場合は、当社アフターサービスへオーバーホールとしてお預けいただくことをおすすめします。

### ■海での使用後の基本的なメンテナンス順序

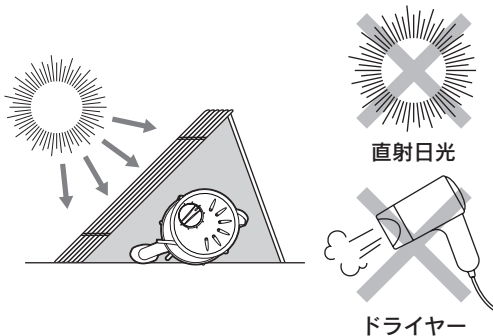
1. 水洗い…ドラッグをしめ込んでから、シャワー等の真水で1～2分間水洗いしてください。スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくとさらに効果があります。



※温水はグリスを洗い流す可能性があるためお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。

2. 乾燥…ドラッグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。

※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。



3. オイル注油…16～17ページ「注油についてのご注意」の図で示す部分に、ごく少量オイルを注油してください。付け過ぎはかえって回転を悪くする場合があります。

#### ●お願い

- ・ リールの状態は使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく異なります。回転時のゴロつき、引っ掛かりの症状が出た場合は、直ぐさま弊社サービスへ、そうでなくとも半年に1度はお預けいただくことをおすすめいたします。最寄りの小売店にてお受けしております。
- ・ リールを水没させ数時間放置しますとドラッグリスが水に流れ出てしまいます。ご注意ください。
- ・ オイル、グリス類は当社指定のもの（SP-003H、SP-013A、SP-023A）をお使いください。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご注意ください。
- ・ 釣行後は竿にセットしたままにせず、リールをはずして水洗いしてください。竿にセットした

状態で水洗いされましても、リールシートのフード部とリールの脚に溜まった海水を洗い流せない事がしばしばあります。

- ・ ハンドルノブには滑りにくい樹脂素材を採用していますが、油によって膨潤する場合があります。ベアリングのメンテナンスの際には、なるべく油分（オイルなど）が付かない様にご注意下さい。また油分が付着した場合には、速やかに拭き取って下さい。
- ・ S A-RB（耐塩水ベアリング）は錆び難いベアリングです。ベアリング内部に塩水が侵入する（塩噛み）のを防ぐものではありません。

#### ●ベアリングの塩噛みについて

基本的なメンテナンスを怠ると、ベアリング内部に塩水が残り、乾燥して塩噛みを起こす恐れがあります。錆びている訳ではありませんが、同様に音鳴り、ゴロ付き等の症状が出ます。乾燥した塩を払拭する事は殆ど出来ません。例えS A-RBであっても、完全な解消方法はベアリングの交換しかありません。ご注意ください。

## 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

### ■水没した際の応急処置

1. 水抜き…内部に侵入した水を抜いてください。
2. 水洗い…19 ページ「海での使用後の基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。
3. 乾燥…19 ページ「海での使用後の基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。
4. オイル注油…16～17 ページ「注油についてのご注意」をご参照ください。オイルの付け過ぎはかえって回転を悪くする場合があります。※長く噴霧させると逆流します。決してグリススプレーは使用しないでください。

#### ●お願い

以上はあくまで応急処置です。不意に水没された場合は、できるだけ早く当社のメンテナンスを受けられるよう、最寄りの小売店にお預けください。

※メンテナンス価格はおよそ ¥3,500 プラス部品代になりますが、状態によって異なります。



## 注意



- 糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをすることがあります。
- ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをすることがあります。



- 糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。



- 回転しているスプールには触れないでください。けがをすることがあります。

## リールのお取り扱いの注意

本リールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

### ●ご使用上の注意

砂、泥、海水は、リールの大敵です。ご使用中、リールを砂地に直接置いたり海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や海水が入ると、思わぬトラブルの原因となることがあります。また、真水であってもリールを完全に水没させるとセンサー部等の水滴が乾くまでブレーキが効かない可能性があります。ご注意ください。夏季に高温の車内（70℃以上）に放置しないでください。電子部品が破損する可能性があります。

根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

### ●お手入れの方法

各部分に付着したゴミ、砂、塩分などは常温のシャ

ワーを軽くかけての水洗いか、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させてください。また、温水をかけたり、水に浸して洗ったりしないでください。乾燥には、ドライヤーや直射日光に当てるなどの熱を加えることはしないでください。とくに、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。ドラッグ部分には、絶対にオイルをつけないでください。オイルが入ると、ドラッグ力が低下することがあります。高温、高湿の状態で長時間放置しますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存する場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保存するようにしてください。ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようご注意ください。

本体枠 B 受から電子基板を絶対に取り外さないでください。取り外された後の性能保証はいたしかねますのでご注意ください。この部品に起因すると思われる不具合が生じた場合には分解せずリール本体ごと修理にお出し下さい。保証期間内であれば保証書を添付願います。

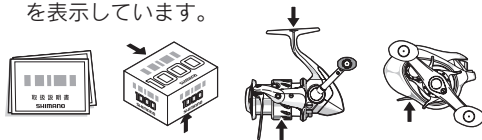
## 商品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

- 修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例／ストッパーが働かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店もしくは最寄りの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。

例／製品名：ステラ 1000S  
商品コード：02080  
製品コード：SD34B012  
部品番号：2 部品名：スプール

- 弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。
- 商品コード / 製品コードの位置  
取扱説明書・分解図・パッケージ底面部もしくは側面部に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



# 株式会社シマノ全国サービスネット

## 株式会社シマノ 北海道営業所

〒001-0925 札幌市北区新川5条1-3-50 TEL. (011) 716-3301

## 株式会社シマノ 仙台営業所

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10 TEL. (022) 232-4775

## 株式会社シマノ 埼玉営業所

〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1 TEL. (048) 772-6662

## 株式会社シマノ 東京営業所

〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL. (03) 3744-5656

## 株式会社シマノ 静岡営業所

〒410-0807 静岡県沼津市錦町674 TEL. (055) 962-3983

## 株式会社シマノ 名古屋営業所

〒454-0012 名古屋市中区尾頭橋2-6-21 TEL. (052) 331-8666

## 株式会社シマノ 大阪営業所

〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3-77 TEL. (072) 223-3920

## 株式会社シマノ 中国営業所

〒700-0941 岡山市南区青江6-6-18 TEL. (086) 264-6100

## 株式会社シマノ 四国営業所

〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1 TEL. (0875) 23-2220

## 株式会社シマノ 九州営業所

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL. (0942) 83-1515

## シマノセールス株式会社 釣具サービス課

〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町1-5-15 TEL. (072) 243-2851

株式会社シマノ 釣具事業部 本社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎ 0120-861130 (ハローイイサオ) フリーダイヤルをご利用できない方は 072-243-8538 (有料)

をご利用下さい。受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00 (土・日・祝日除く)

■シマノホームページ アドレスは <http://www.shimano.com> です。

新製品情報・気象情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。

また、カタログのお申し込みも受け付けています。

■シマノi-mode情報 アドレスは <http://fishing.shimano.co.jp/i/> です。

Printed in Japan (090129)

037

# SHIMANO